

サービス改善計画書

策定日 : 2026(令和8)年3月10日

事業・サービス名 : 計画相談支援

施設・事業所名 : 相談支援事業・ひろかわ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
1(2)①1. サービスの質に関する話し合いを事業所内で定期的、継続的に行っている。	B	専任1名、兼任3名の体制より十分にできていない。	専任1名、兼任1名の少数精鋭体制をとる中で定期的・継続的な話し合い(相談定例会議)をもつ。	月1回 (第3水曜日 13:30~)	桂田	
1(2)④4. 質の高いサービスを確保するため、定期的、継続的に職員のスキル評価を実施している。	B	実施できていない。	定期的・継続的な職員のスキル評価を実施する。	半年毎	桂田	
1(2)③3. 一年目の職員に対する、研修マニュアルが準備されている。	B	相応の研修やマニュアルがない。	研修マニュアルを作成し、計画的に研修を重ねることによってスキルアップが図れるようにする。	3ヵ月 (4~6月)	桂田	
1(2)③7. 研修には、OJT手法を活用している。	B	OJTの実施が不十分である。	困難事例等をブラザーシスター方式で取組んでみる。	1年	桂田	
1(6)①2. 機関誌を発行するなど地域への情報提供、PR等を実施している(年3回以上)	B	地域への情報発信ができていない。	発行予定の法人機関誌に計画相談コーナーを設け、情報提供等を行う。	年4回	桂田	
1(6)①3. 地域に向けての講座や研修等を企画、実践している。	B	事業所主催の研修や講座も実施できていない。	相談支援連絡会における地域課題の事例提供をコンパスと連携して行う。	年6回	桂田	
1(7)①1. 事故、災害に対するの対応マニュアルが作成されている。	A	マニュアルはあるものの連絡先等の情報が全職員と共有できておらず実効性に課題がある。	BCP訓練を介して改善する。	年1回	桂田	
1(7)①3. 事故発生時には、事故の状況が全職員に周知されている。	A	事業所内部と役員だけしか共有できていない。	職員朝礼及び全体会議にて報告を行う。	随時	桂田	